

「統計値」機能について

- 統計値コマンドは、数値データである分析対象列に対して、統計値を算出する機能です。
- 統計値選択の機能があり、27種類の統計値の中から自由に選択することが出来ます。

① 「ActiveData分析コマンド」グループ内の「統計値」をクリックします。

	A					G
1	請求番号				号	数量
8	20006	2010/1/1	2010/2/5	10653	19	58
9	20007	2010/1/1	2010/2/27	10413	12	61
10	20008	2010/1/1	2010/1/23	10654	12	4



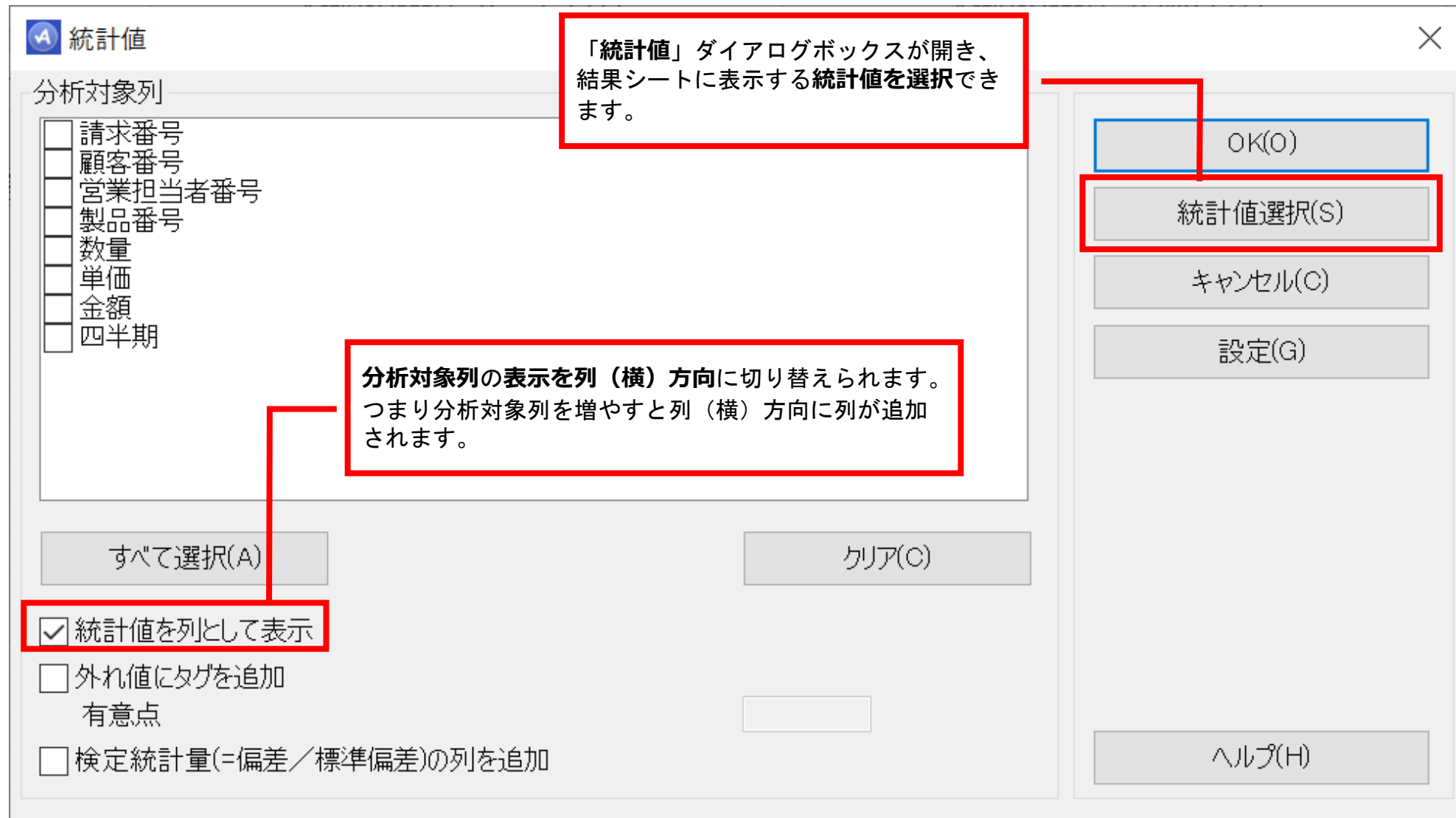
② 「統計値選択」ダイアログボックスが開きます。

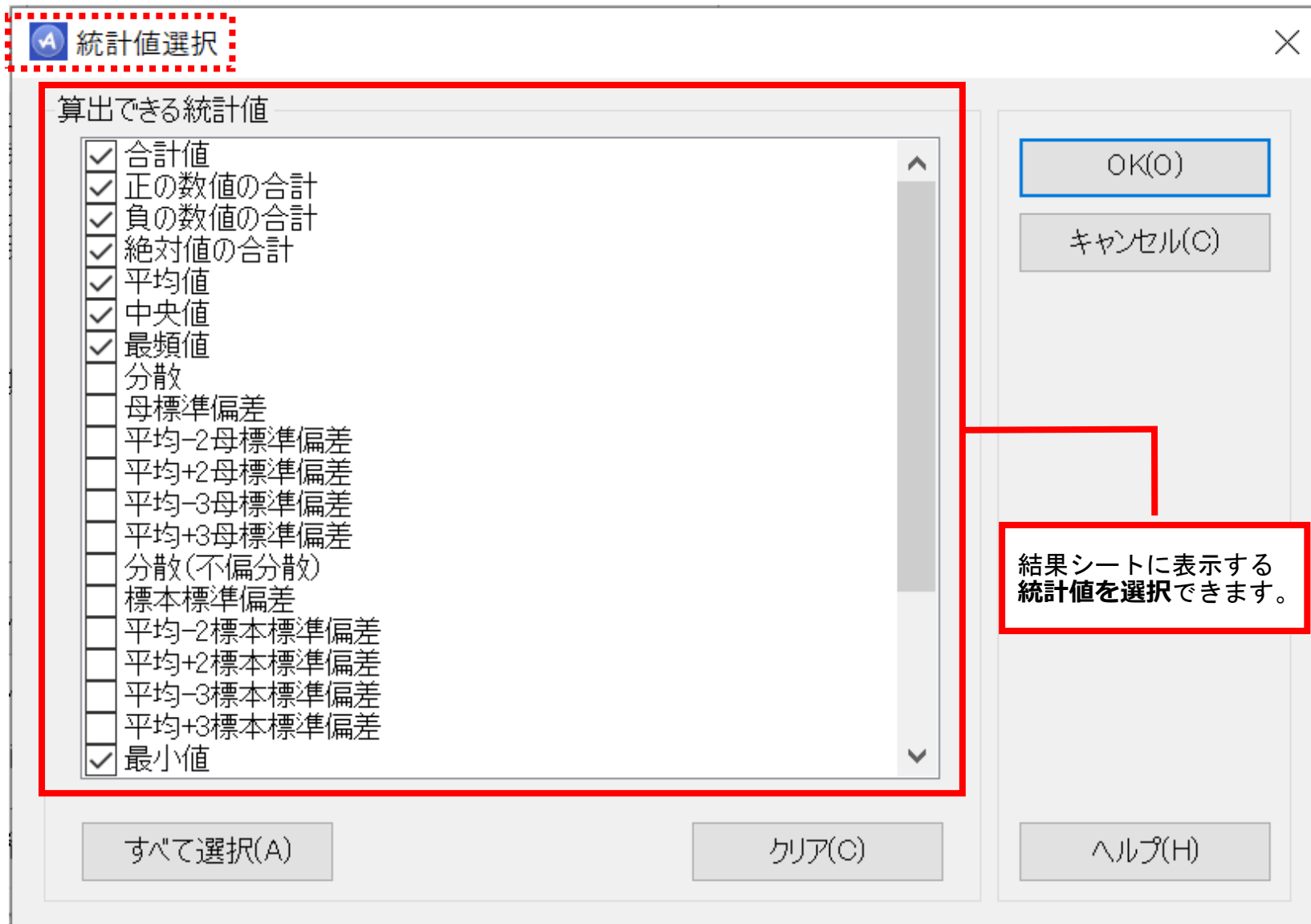
算出できる統計値

- 合計値
- 正の数値の合計
- 負の数値の合計
- 絶対値の合計
- 平均値
- 中央値
- 最頻値
- 分散
- 母標準偏差
- 平均-2母標準偏差
- 平均+2母標準偏差
- 平均-3母標準偏差
- 平均+3母標準偏差
- 分散(不偏分散)
- 標本標準偏差
- 平均-2標本標準偏差
- 平均+2標本標準偏差
- 平均-3標本標準偏差
- 平均+3標本標準偏差
- 最小値

すべて選択(A) クリア(C) ヘルプ(H)

OK(O) キャンセル(O)





	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	統計値	合計値	正の数値の合計	負の数値の合計	絶対値の合計	平均値	中央値	最頻値	最小値	最大値	合計件数	空白	エラー
2	金額	12,074,538.40	12,074,538.40	0.00	12,074,538.40	2,415.39	916.00	458.00	96.50	50,310.00	4,999.00	0.00	0.00
3													
4													
5													